

令和5年11月13日
(2023年)

保護者のみなさまへ

吹田市立津雲台小学校
校長 中野 圭子

令和5年度 全国学力・学習状況調査の分析について

本年度、6年生を対象として「令和5年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月中旬に個人ごとの結果をお返ししました。この調査は小学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語と算数に限られております。また、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことを踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えております。

対象となった6年生には、よりきめ細かな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導方法の工夫改善も図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にさせていただきますようお願いいたします。

1 教科に関する調査の分析

●国語

《概要》

今回の学力調査は、すべての領域で全国値を上回る結果でした。

《各領域における成果と課題、指導改善のポイント》

言葉の特徴や使い方に関する事項

- ・「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」「送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使う」ことは、全国値を上回りよく理解できていました。

情報の使い方に関する事項

- ・「情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う」ことは、全国値を上回りよくできていました。

話すこと・聞くこと

- ・「必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができる」は、全国値を上回りよく理解できていました。
- ・「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる」は、全国値をやや上回っているものの、課題が見られました。

書くこと

- ・「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる」は、全国値を上回っているものの、正答率が低く、課題が見られました。

読むこと

- ・「目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけることができる」は、全国値を上回ってよく理解できていました。

- ・「文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめることができる」は、全国値をやや上回ってはいたものの、課題が見られました。

●国語科における成果と今後の改善点について

全体的に全国値を上回り良好な結果でした。「言葉の特徴や使い方に関する事項」では、全国値を大きく上回っており、引き続き相手や場面に応じた適切な言葉の使い方等指導していきます。「書くこと」においては、図や表を適切に用い、自分の考えがより相手に伝わる書き表し方の習得に国語科に限らず様々な教科で取り組んでいきます。また、実用的な文章を書くための言語活動について、発達段階に応じて指導を行っていきます。「読むこと」に関しては、文章を読んで自分の考えをまとめるために、文章の内容や構造を捉え精査・解釈しながら考えたり、理解したりしたことに基づき、既存の知識と結び付けて自分の考えをまとめることができるよう指導していきます。そのために、条件に合うように自分の考えを文章に表す指導を他教科でも取り組んでいきます。

●算数

《概要》

今回の学力調査は、すべての領域で全国値を上回る結果でした。

《各領域における成果と課題、指導改善のポイント》

数と計算

- ・「一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算ができる」は、全国値を上回りよく理解できていました。
- ・「2位数÷1位数の筆算について、図を基に各段階の商の意味を考える」は、全国値をやや上回っているものの課題が見られました。

図形

- ・「台形の意味や性質について理解している」「正方形の意味や性質について理解している」は、全国値を上回り大変よくできていました。
- ・「正三角形の意味や性質について理解している」は、全国値を上回っているものの課題が見られました。

変化と関係

- ・「伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることができる」は、全国値を上回りよく理解できていました。
- ・「伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できる」は、全国値を上回っているものの、やや課題が見られました。

データの活用

- ・「二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができる」は、全国値を上回っていました。
- ・「示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できる」は、全国値を上回っているものの、やや課題が見られました。

●算数科における成果と今後の改善点について

全体的に全国値を上回り良好な結果でした。「数と計算」では、日常の色々な場面を想定し、目的に合った数の処理の仕方を考えることができるよう指導を充実させていきます。また、筆算の手順だけを覚えるのではなく、具体物の操作や図で考えた結果を式に表す活動を多く取り入れていきます。「図形」においては、図形を構成する要素にも着目させ、見通しを持たせながら簡潔かつ的確な表現を用いることができるよう指導していきます。「変化と関係」では、伴って変わる二つの量について、変化の規則性を基に筋道を立てて考え、知りたい数量の大きさをもとめることができるよう指導していきます。また自分の解き方を相手にも伝わるよう説明することでより考えを深めていきます。「データの活用」においては、目的に応じて分類整理された複数のグラフを比べ、見いだしたことを相手にわかりやすく表現する活動を算数はもちろん、他教科でも取り組んでいきます。

2 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

【学習環境・生活環境について】

- ・「自分には良いところがある」「先生は良いところをみとめてくれている」と答えた児童は全国値を上回っていました。
- ・「学校の授業時間以外に普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の質問に「3時間以上」と答えた児童は、全国値を上回っていました。
- ・「昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか」の質問に「だいたい週に4回以上行く」と答えた児童は、全国値を上回っていました。
- ・「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」の質問では、「ほぼ毎日」と答えた児童は、全国値を上回っていました。
- ・「人が困っているときは進んで助ける」「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」の質問に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童は、全国値をやや下回っていました。

【教科・学習について】

- ・「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と答えた児童は、全国値を上回っていました。
- ・「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と答えた児童は、全国値を上回っていました。
- ・「国語の勉強は好きだ」と答えた児童は、全国値をやや下回っていましたが、「国語の勉強は大切だと感じている」と答えた児童は、全国値をやや上回っていました。
- ・「算数の勉強は好きだ」と答えた児童は、全国値を上回っていました。
- ・「英語の勉強は好きだ」と答えた児童は、全国値を下回っていましたが、「英語の勉強は大切だと思う」と答えた児童は、全国値を上回っていました。

3 今後の取り組み

今回の全国学力・学習状況調査は、全体的に全国値を上回る結果となりました。これも保護者の皆さまが、子どもたちの学習環境づくりに日々留意して下さっているおかげだと思えます。今後も引き続き、ご協力よろしくお願い致します。今回の調査で明らかになった課題につきましては、しっかりと検証し、課題解決に向けた取り組みを充実させてまいります。

学習面においては、どの教科でも実生活に基づいた授業を目指すとともに、学習指導要領でも示されている「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、以前より取り組んでいる「伝え合う力」の育成を基盤にして、学習で得た知識・技能を活用しながら、自分の考えを書いたり発表したりする機会をどの教科におきましても取り入れていきます。複数の教科の連携、そして地域とも連携しながらカリキュラムマネジメントを行い、子どもたちの「生きる力」を育んでいきたいと思えます。学校での学びを日常生活で活用したり、ご家庭での経験を学校生活に生かしたりしながら、学校・家庭・地域が連携して子どもたちの成長の手助けができればと思えます。また、一人一台端末(iPad)を効果的に活用し、ICT機器を授業に取り入れ、よりわかりやすい授業の実践に取り組みます。

学習環境や生活環境等に関する調査結果では、今年度も家庭教育力が高く、児童にとって恵まれた環境にいることがわかりました。学校でも教育活動全体を通して、子どもたちの良いところを認め、また互いに認め合い共に学び合う機会を作り、自尊感情を育んでいきたいと思えます。また、全学年でのいじめ予防授業、トリプルチェンジやデジタルシティズンシップ教育も引き続き実施していきます。

学校では、子どもたちがどんな状況にも対応できるよう思考力・判断力・表現力の育成に努めてまいります。今後の学校の取り組みにもご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願い致します。